

平成 28 年度予算編成について

1. 平成 28 年度予算の概要

平成 28 年度予算規模は、総収入 27 億 8 千万円、総支出 28 億 3 千万円で当期正味財産増減額は 5 千 2 百万円のマイナスとなりました。27 年度決算対比で総収入は 1 億 3 千万円の減収、総支出は 6 千 5 百万円の減額予算となりました。

平成 28 年度予算は、財政基盤を支える重要な事業の一つである通学制養成講座受講者の減少傾向に歯止めがかからず、たいへん厳しい状況になっています。

また、28 年 4 月からキャリアコンサルタントの国家資格化が施行され、当協会におけるキャリア・コンサルタント試験の実施がなくなりました。この厳しい財政状況を打破するため、国家資格キャリアコンサルタントの受験資格を得るためのキャリアコンサルタント養成講習(受講期間 4 カ月、140 時間)を立ち上げるとともに、キャリアコンサルタント受験対策講座を全支部において実施していくことを計画しています。

普及事業では、50 人以上の事業所に対するストレスチェックの義務化が法制化されたことにより、産業カウンセラーの活躍する機会が増えることが予想され、企業に対し積極的にアプローチを掛けていきます。

2. 収 入

個人会費収入は、新規会員の加入促進を図るとともに退会者を減らすことにより前年実績に対し 2 千 9 百万円の収入増を見込んでいます。賛助会員については微増の 4 2 百万円の収入増を見込んでいます。

認定試験では、キャリア・コンサルタント試験が無くなったこと、産業カウンセラー養成講座の受講者が減少したことによる影響で前年実績対比 1 億 3 千万円の減少予算建てとなりました。また、昨年度はキャリア・コンサルタント合格者は、国家資格キャリアコンサルタントに移行できることもあり、受験者が大幅に増えたことが、当年度予算との乖離になっています。

産業カウンセラー通学制養成講座、シニア講座では前年度対比 1 千 7 百万円の減収、キャリアコンサルタント養成講習では、昨年度は試験と同様に合格者の国家資格移行が決まり受講者の駆け込み受講があったため、実績対比では 9 千万円の減少予算となりました。通信制養成講座は、安定した受講者募集ができており、昨年度実績対比で 1 千百万円の増収を見込んでいます。

会員研修では、昨年度資格登録更新研修が本部、支部で実施され約 8 千人の会員が受講しました。本年も支部で更新研修を実施しますが、昨年度の受講人数から比べると大きく減ることが予想されるため、昨年度実績対比で 4 千 5 百万円の減収見込みとなりました。

普及事業は、安全衛生法改正によるストレスチェックが法制化されたことによる企業受託が増えることが見込まれること及び積極的な企業へのアプローチ活動による受託が増加することを見込み、前年実績対比6千百万円の増収を予想しています。

相談事業の大半は公益目的支出事業となっていますが、個人の相談室利用促進や、電話相談員の養成や能力向上研修等の推進により6百万円の収入増を見込んでいます。

受託事業では、厚生労働省「こころの耳」の継続受託、中部支部、四国支部等における地方労働局の受託を合わせ2億1千万円の収入を計上しました。

3. 支 出

全国大会を除く事業支出全体では昨年度対比6千3百万円の支出減となりました。認定試験では、キャリア・コンサルタント試験が無くなったため5千万円の支出減となっています。

昨年まで毎年管理費全体が大きく増加していましたが、28年度は管理費全体を見直し、前年対比で減少するよう努力していきます。

また、会報誌の在り方にも見直しを図っていくことが予定されており、経費削減に取り組み予算の健全化に努めてまいります。

4. 公益目的支出事業について

公益目的支出事業全体で6千7百万円を見込んでいます。個別事業では相談室における相談事業では3千2百万円、公開講座で1千2百万円、産業カウンセリング体験講座で1千百万円、無料電話相談で1千2百万円の支出を見込んでいます。